第 12NEAR 実務委員会結果報告

- 期間：2019年8月6日（火）～8月8日（木）
- 場所：ロシア・サハ共和国、ヤクーツク市第1州政府庁舎
- 目的：主要議題審議・議決及び会員自治体間の交流協力拡大

北東アジア地域自治体連合事務局
The Secretariat of the Association of North East Asia Regional Governments

「第12回 NEAR 実務委員会」開催結果

○　北東アジア地域自治体連合（NEAR）の主要活動を会員自治体と共有し、実務委員会に上程された主要議題の審議・議決結果を報告する。

■ 概要

○　期間：2019年8月6日（火）～8月8日（木）、3日間
○　場所：ロシア・サハ共和国ヤクーツク市　第1州政府庁舎
○　主催・主管：NEAR、サハ共和国（議長団体）
○　参加者：79名（4カ国19会員自治体66名、NEAR事務局13名）
　※ 書面議決書の提出：5 カ国 30 会員自治体

国名	参加者数	参加団体名
中国	6 自治体 15 名	河南省、黒竜江省、湖北省、内モンゴル自治区、寧夏回族自治区、山東省
日本	3 自治体 8 名	富山県、兵庫県、島根県
韓国	7 自治体 17 名	光州広域市、蔚山広域市、京畿道、忠清南道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道
ロシア	3 自治体 26 名	サハ共和国、クラスノヤルスク地方、アムール州

■ 主な内容

○　NEARの主要活動報告
- NEAR事務局主要業務報告
- 第12回NEAR総会報告（書面報告）
- 分科委員会開催結果報告（日本・富山県、兵庫県）
- 青年リーダースフォーラム開催結果報告（ロシア・クラスノヤルスク地方）

○　会員自治体の発表（河南省、山東省、光州広域市、慶尚北道、アムール州）
○　実務委員会の議題発表及び討論
- NEAR行事の運営改善に関する提案
- 会費納付時期の猶予に関する提案
- 会員自治体別名誉大使の委嘱に関する提案
- 2020年度事務局の主要行事計画（案）に関する情報共有と会員自治体の意見照会
- 次期総会の開催地誘致に関する報告
- 2018年度事務局予算執行状況の報告

○　現地視察（ユネスコ世界遺産レナ石柱自然公園）

■ 日程

	時間	所要時間	主要内容	備考
8月6日（火）	第1回NEARスポーツ分科委員会（第1州政府庁舎）			
	12:40～13:00	0:20	・ 移動（ホテル⇒レストラン）	
	13:00～14:00	1:00	・ 昼食	レストラン： セブンスヘブン
	14:00～14:20	0:20	・ 移動（ホテル⇒サハ共和国民族スポーツセンター）	
	14:20～15:20	1:00	・ ヤクーツク民族スポーツ実演	進行： サハ共和国
	15:20～15:30	0:10	・ 移動（サハ共和国民族スポーツセンター⇒第1州政府庁舎）	
	15:30～16:00	0:30	・ スポーツ分科委員会登録、コーヒーブレイク	
	16:00～18:00	2:00	・ 開会式（挨拶） ・ 祝辞（金玉彩NEAR事務総長） ・ NEAR民族フェスティバルに関する発表（セミョン・チェルドノフ　サハ共和国スポーツ部第1次官） ・ 民族スポーツに関する討論	進行： サハ共和国
	18:00～18:15	0:15	・ 記念撮影及びマスコミ取材	
	18:15～18:30	0:15	・ 移動（第1州政府庁舎⇒ホテル）	
	18:30～18:50	0:20	・ 休憩	
	18:50～19:00	0:10	・ 移動（ホテル⇒晩餐会場）	
	19:00～20:30	1:30	・ **サハ共和国首長主催の晩餐会**	レストラン： セブンスヘブン
	20:30～		・ 移動（レストラン⇒ホテル）、自由時間	
8月7日（水）	第12回NEAR実務委員会（第1州政府庁舎）			
	07:00～08:00	1:00	・ 朝食	ホテル
	08:15～08:30	0:15	・ 移動（ホテル⇒第1州政府庁舎）	
	08:30～09:00	0:30	・ 座席案内、行事準備	NEAR 広報映像
	開会式			
	09:00～09:30	0:30	・ **開会式** －ロシア・サハ共和国総理の開会の辞 －NEAR事務総長の祝辞 －サハ共和国への投資誘致と観光地としての可能性紹介（広報） －記念撮影	進行： サハ共和国

	09:30～10:00	0:30	・ コーヒーブレイク	
	実務委員会　会議Ⅰ			
	10:00～11:00	1:00	・ **参加者の紹介** ・ **NEAR主要活動報告** －NEAR事務局の主要業務報告 －第12回NEAR総会報告（書面報告） －環境分科委員会の結果報告（日本・富山県） －防災分科委員会の結果報告（日本・兵庫県） －青年リーダースフォーラムの結果報告 （ロシア・クラスノヤルスク地方） ・ **会員自治体による発表** －中国（河南省、山東省） －韓国（光州広域市、慶尚北道） －ロシア（アムール州）	進行： サハ共和国
	11:00～12:30	1:30	・ **議題討論** －議題1：NEAR行事の運営改善に関する提案 －議題2：会費納付時期の猶予に関する提案 －議題3：各会員自治体別の名誉大使の委嘱に関する提案	進行： NEAR 事務局
	12:30～13:00	0:30	・ 移動（第1州政府庁舎⇒レストラン）	
	13:00～14:00	1:00	・ 昼食	レストラン： セブンスヘブン
	14:00～14:30	0:30	・ 移動（レストラン⇒第1州政府庁舎）	
	（実務委員会　会議Ⅱ）			
	14:30～15:30	1:00	・ **議題討論** －議題4：2020年度事務局の主要行事計画(案)に関する 情報共有、会員自治体からの意見 －報告1：次回総会の開催地誘致に関する報告 －報告2：2018年度事務局予算執行状況の報告	進行：事務局
	15:30～15:45	0:15	・ コーヒーブレイク	
	15:45～17:30	1:45	・ **宣言文作成（NEAR事務局）** ・ **現地視察（会員自治体）**	
	17:30～18:00	0:30	・ 宣言文の検討、発表 ・ 閉会式	
	18:00～18:10	0:10	・ 移動（第1州政府庁舎⇒ホテル）	
	18:10～19:10	1:00	・ 休憩	

	19:10～19:30	0:20	・ 移動(ホテル⇒レストラン)	レストラン： ムスファイア
	19:30～21:00	1:30	・ **NEAR事務総長主催の晩餐会**	
8月8日 (木)	07:00～07:40	0:40	・ 朝食	ホテル
	07:50～08:15	0:25	・ 移動(ホテル⇒遊覧船乗り場)	
	08:30～13:00	4:30	・ 移動(遊覧船乗り場⇒レナ石柱自然公園)	遊覧船
	13:00～14:00	1:00	・ レナ石柱自然公園散策	
	15:00～16:00	1:00	・ 昼食	公園内
	16:00～20:00	4:00	・ 移動(レナ石柱自然公園⇒ホテル)	
	20:00～21:00	1:00	・ 夕食	
	21:00～		・ 自由時間、帰国	

■ NEARの主要業務報告

内容	タイトル	発表者	国名	主要内容
議長団体による発表	サハ共和国への投資誘致と観光地としての可能性紹介	ガブリル・キリリン サハ共和国対外関係・民族業務部長官	ロシア	-サハ共和国の紹介（対外経済活動、観光地としての可能性）
NEAR 主要活動報告	NEAR 事務局主要業務報告	キム・ヨンヒ NEAR 事務局企画広報部長	NEAR	-2018 年度主要業務報告 -2019 年度主要業務報告と計画
	第 12 回 NEAR 総会報告	書面報告	中国 湖南省	-総会議決内容
分科委員会活動報告	環境分科委員会	柿沢昌宏 富山県理事・総合政策局次長	日本	-個別プロジェクト実施現況（北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業、環境ポスター展等）
	防災分科委員会	横川太 兵庫県国際交流課長	日本	-第 17 回防災分科委員会の活動報告と次回開催の計画 -兵庫県の紹介
青年リーダースフォーラム結果報告	クラスノヤルスク地方（ビリュサ）で開催された「北東アジア地域青年リーダースフォーラム」の結果報告	ロマン・ミンキン クラスノヤルスク地方国際協力課 諮問委員	ロシア	-2019 年青年リーダースフォーラムの活動報告
会員自治体の発表	河南省の概要と主要行事	楊瑋斌 河南省外事弁公室巡視員	中国	-河南省の紹介、動画による紹介
	山東省の概要と主要行事	孫業玉 山東省外事弁公室主任	中国	-山東省の紹介 -第6回海洋漁業分科委員会の開催紹介 -映像
	人権都市と光州、そして地球的協力	キム・グァンフィ 光州広域市企画調整室長	韓国	-人権都市光州の紹介 -2019 年、2020 年世界人権都市フォーラム紹介
	第 13 回 NEAR 経済・人文交流分科委員会の開催計画 / 2019 慶州世界文化エキスポ紹介	キム・ホジン 慶尚北道 雇用経済産業実長	韓国	-第 13 回経済・人文交流分科委員会開催計画 -2019 慶州世界文化都市 エキスポの紹介
	アムール州：北東アジア各国との協力について	キレエバ・エカテリーナ アムール州経済開発・対外関係部第1次官	ロシア	-アムール州の紹介

■ 議題発表及び討論

内容	タイトル	発表者	国名	主要内容
実務委員会 議題発表 及び討論	議題討論及び議決（進行：NEAR 事務総長）			
	【議題1】 NEAR 行事の運営改善に関する提案	パク・ションミン NEAR 事務局国際協力部長	NEAR	- 今後、開催されるNEAR 行事の運営方針とした。 （例外を認める）
	【議題2】 会費納付時期の猶予に関する提案	キム・ヨンヒ NEAR 事務局企画広報部長	NEAR	- 会費納付時期の猶予については、異議がなかったため、会費規程を改定し、会費納付時期を猶予することとした。
	【議題3】 会員自治体別の名誉大使の委嘱に関する提案	キム・ヨンヒ NEAR 事務局企画広報部長	NEAR	- 会員自治体ごとに名誉広報大使を委嘱することとした。詳細については、今後事務局が書面で会員自治体に通知する。
	【議題4】 2020 年度事務局の主要行事計画(案)に関する情報共有、会員自治体からの意見	パク・ションミン NEAR 事務局国際協力部長	NEAR	- 事務局は会員自治体の意見を前向きに受けとめ、来年度の事業に反映することとした。
	【報告1】 次回総会の開催地誘致に関する報告	金玉彩 NEAR 事務総長	NEAR	- 第14代議長団体を希望する会員自治体がなかったため、報告 1 を省略。
	【報告2】 2018 年度事務局予算執行状況報告	イ・ウォンヨン NEAR 事務局企画総務チーム長	NEAR	- 2018 年度事務局予算執行状況の詳細報告。
議長団体 からの提案	2020年の第13回総会においてNEAR 会員自治体間の投資、輸出、観光等についてプレゼンテーション実施する。	ガブリル・キリリン サハ共和国 対外関係・民族業務部長官	ロシア	- 2020 年の第 13 回総会で NEAR 会員自治体間の事業開発及び経済・貿易協力を目的とした投資、輸出、観光等に関するプレゼンテーションを実施することを提案した。

※ 添付：第 12 回 NEAR 実務委員会宣言文

■ 主要議題討論内容

1.【議案 1】NEAR 行事の運営改善に関する提案

○ NEAR事務局による提案理由と内容の説明

○ 会員自治体の意見発表、質疑応答

会員自治体	主要内容
韓国 光州広域市	・ 議題1については、実務的な提案であり、特別な意見はない。
日本 富山県	・ 議題1の基本方向には賛成する ・ しかし、78会員自治体ごとにはそれぞれの運営方法があり、事務局が各自治体の主体性を尊重すればNEAR行事への参加率は高くなると思う。全てのNEAR行事を一律に管理するのではなく、総会、実務委員会、実務者ワークショップ、国際フォーラム等は事務局が、分科委員会は担当コーディネート自治体が調整するように事務局側の配慮が必要。 ・ 分科委員会は各コーディネート自治体が主催する行事であるため、行事開催の少なくとも3ヶ月前には文書を送付するなどのルールは定めず、各コーディネートが主体的に進めるように要請する。
NEAR 事務局	・ 事務局からの提案は強制ではなく推奨事項であり、分科委員会の開催においては担当コーディネート自治体の方法を尊重する。 ・ あるコーディネート自治体は、分科委員会の開催1ヶ月前に通知したため、会員自治体の参加率が低く、分科委員会の運営が難しくなった。 ・ 基本的な運営方法については原案通りにするが、分科委員会に関しては柔軟に対応する。

○ 議案1についての議決

49会員自治体（書面議決書を提出した30会員自治体を含む）の内、賛成49

2.【議案 2】会員納付時期の猶予に関する提案

○ NEAR事務局による提案理由と内容の説明

○ 議案2についての議決

49会員自治体（書面議決書を提出した30会員自治体を含む）の内、賛成46（書面27），反対3（書面3） ※反対は、提案の趣旨についての反対ではない。

3.【議案 3】会員自治体別名誉大使の委嘱に関する提案

○ NEAR事務局による提案理由と内容の説明

○ 会員自治体による意見発表、質疑応答

会員自治体	主要内容
日本 兵庫県	・ NEARの知名度を高める活動には積極的に賛成する。但し、自治体がどのような人に名誉広報大使を委嘱すればいいのか具体的なイメージがはっきりしない。これについて事務局に詳細な説明を求める。
NEAR 事務局	・ 名誉広報大使であるため、報酬や謝礼は一切支給しない。 ・ 但し、事務局の予算で年に1回 NEAR事務局に招待し、NEARの理念や活動について知ってもらう機会をつくる。 ・ 名誉広報大使に委嘱されると、地域でNEARの広報活動をしたり、NEAR会議に自己負担で参加できる。 ・ 今後、事務局から詳しい計画ついて会員自治体に書面で通知する。
日本 島根県	・ NEARの活動を多くの方に知ってもらうことは大切。 ・ そこで、NEAR事務局としても、各団体が実施している広報内容を確認するとともに、有益と思われる広報については、事務局としても積極的に取り入れることも大事ではないか。

○ 議案3についての議決

49自治体(書面議決書を提出した30自治体含む)の内、賛成42(書面23)、反対7(書面7)

4.【議案 4】2020 年度事務局の主要行事計画(案)に関する情報共有、会員自治体からの意見

○ NEAR事務局による提案理由と内容の説明

○ 会員自治体による意見発表、質疑応答

会員自治体	主要内容
NEAR 事務局	・ 2020年事務局の主要行事計画では、NEAR国際フォーラムのテーマは「クルーズ観光」を検討しているが、会員自治体からよりよいテーマの提案があれば変更可能であることを追加説明した。
中国 河南省	・ 事務局が提案した国際フォーラム等4つの主要行事は全て意義深い行事だと考え、原案に賛成する。

○ 議案4についての議決

49会員自治体(書面議決書を提出した30会員自治体を含む)の内、賛成49

5.【報告 1】次回総会の開催地誘致に関する報告

◯ 今回の実務委員会の開催までに第14代議長団体を希望する会員自治体がなかったため、報告1は省略する。

6.【報告 2】2018 年度事務局予算執行状況の報告

◯ NEAR事務局の運営経費執行についての報告

2005年以来、事務局の運営経費を負担している韓国・慶尚北道に拍手を送り、感謝の気持ちを表した。

■ 実務委員会開催結果の総評

【良かった点】

- 実務委員会とスポーツ分科委員会を共同開催し、スポーツ分科委員会の参加率（4カ国8会員自治体）を高めることができ、サハ共和国の伝統スポーツ広報に大きな影響をもたらした。
- サハ共和国政府は、ホテルとヤクーツク空港間の送迎バスを運行し、参加者の便宜を図った。
- 事務局が事前に詳細なシナリオを翻訳してサハ共和国に提供したため、委員会の出席者に議題の趣旨を伝えることができた。
- 金玉彩NEAR事務総長がサハ共和国最大のテレビ局であるヤクーチアテレビに出演するなど、NEARの理念や役割について広報した。
- 事務局は、2005年以来、韓国・慶尚北道が負担してきたNEAR事務局の運営経費の総額と2018年度事務局運営予算の詳細な内容についてはじめて報告した。また、参加会員自治体は慶尚北道の国際貢献に対し、感謝の拍手を送った。

【改善事項】

- 直前に不参加を通知した会員自治体が多かった。特に、モンゴル会員自治体が全て不参加だったことは残念である。

⇒ **NEAR行事の運営方法が決まったので、今後事務局はNEAR行事の円滑な準備のために尽力する。長期的には、会議への参加率を向上のための対策が必要。**

- これまでも指摘されてきたリレー通訳の問題については、事務局が事前にシナリオを渡して一部は改善されたが、通訳者により通訳の内容が大きく左右される。特に、議題討論時には正確な意思疎通が難しかった。

⇒ **今後、根本的な解決を図るべきである。**

- ヤクーツク空港には国際線の直行便がほとんどないため、参加者の多くはウラジオストクやノヴォシビルスク空港などでの乗り継ぎに時間を要した。

⇒ **2020年に開催する予定の第13回総会は、可能であれば国際線の直行便に合わせて総会の日程を調整するように議長団体と話し合う。**

- 実務委員とは、会員自治体の局長級だが、「実務委員会」という名称が会員自治体の実務者級が集まる会議と認識されたため、幹部職員の参加率が低かった。

⇒ **2021年の実務委員会は、通知文書に「実務委員会（幹部級）」と明記するのが望ましい。**

- 今回の実務委員会には78会員自治体中、19会員自治体のみ参加した。意思議決権を有する会員自治体の過半数を満たすため、書面議決書を提出した自治体を参加自治体と慣例的に認めて議決しているが、連合憲章には根拠の記載がない。

⇒ **2020年の総会では、憲章に書面議決についての根拠条項（第9条意思決定）を新設し、書面議決書の提出も出席と認めることとする。**

■ 行事写真

日時	2019 年 8 月 7 日(水)	内容	記念撮影

日時	2019 年 8 月 7 日(水)	内容	実務委員会の様子

日時	2019 年 8 月 7 日(水)	内容	事務総長とサハ共和国首長による共同司会・進行

日時	2019 年 8 月 7 日(水)	内容	ヤクーチア 24 テレビ出演

添付

第 12 回実務委員会宣言文

2019 年 8 月 7 日、ロシア・サハ共和国にて北東アジア地域自治体連合（NEAR)第 12 回実務委員会が開催された。実務委員会には、中華人民共和国、日本国、大韓民国、ロシア連邦等の 4 カ国 19 会員自治体の代表者が出席し、書面議決書を提出した 30 会員自治体と合わせて、49 自治体が議決権を行使した。

開会式に続く第 1 セッションでは、NEAR事務局の主要活動報告、第 12 回総会の結果報告、日本・富山県及び兵庫県の分科委員会の結果報告、ロシア・クラスノヤルスク地方の青年リーダースフォーラムの結果報告が行われた。中国・河南省・山東省及び大韓民国・光州広域市、慶尚北道及びロシア・アムール州が、会員自治体の広報等について発表を行った。

ロシア・サハ共和国は、2020 年の第 13 回総会において NEAR 会員自治体間の事業開発及び経済・貿易協力を目的とした投資、輸出、観光等に関するプレゼンテーションを実施することを提案した。NEAR 事務局は、本提案について関心のある会員自治体の参加を要請することとした。

第 2 セッションでは、NEAR 行事の運営改善に関する提案、会費納付時期の猶予に関する提案、会員自治体別名誉広報大使の委嘱に関する提案、2020 年度NEAR事務局の主要行事計画（案）に関する情報共有及び会員自治体の意見照会等 4 つの議題が上程され、議題別に討論や議決が行われた。

実務委員会に上程された議案についての議決事項は次のとおりである。

1. NEAR 行事運営の改善方策に関する提案

NEAR 会員数の拡大と共に発生した問題として議題や日程の調整不足、リレー通訳による

コミュニケーションの問題（発表内容やディスカッション内容が上手く伝わらない）等について改善が必要であるため、以下のとおり決定した。

一．総会、実務委員会、分科委員会、実務者ワークショップ、NEAR 国際フォーラム等NEAR と関わりのある行事を開催する際、行事の主催団体は、開催期間、テーマ（議題）、場所等について、少なくとも 3 ヶ月前までに書面でNEAR事務局に通知する。NEAR事務局は、これを検討した上で、直ちに全ての会員自治体へその旨を記載した文書を送付する。

二．行事への参加を希望する会員自治体は、主催が円滑に準備できるよう、2ヶ月前までに参加者リストと関連情報をNEAR事務局に提出する。

三．発表を希望する自治体は、NEAR行事が 5～6 カ国語で行われることなどを考慮し、通訳・翻訳のため、発表資料は開催 1 ヶ月前までに、発表シナリオは開催 2 週間前までにNEAR事務局に提出する。但し、この改善方策は、NEAR行事への参加率を高めると同時に円滑な行事進行やコミュニケーションのために提案するものであり、強制ではなく推奨事項である。

2. 会費納付時期の猶予に関する提案

2016年の第11回総会でNEAR会費制の運営規程を定め、会費制の導入に合意した。ところが、現在まで多くの会員自治体が会費納付に対して否定的な意思を表明している。

NEAR事務局の予算執行に対する会員自治体からの信頼性の確保、会費の使途等についての合意を得られるまで会費納付時期を当分の間猶予とし、会費運営規定を改定した。

3. 会員自治体別名誉広報大使の委嘱に関する提案

NEARの知名度を高めるために全会員自治体は、地域内のオピニオンリーダーをNEAR事務局に推薦することができる。NEAR事務局はこれを受けて、事務総長名義の「NEAR名誉広報大使」を委嘱することとする。

名誉広報大使は、当該会員自治体との緊密な協力を基にマスコミへの寄稿活動、講演、会員自治体の国際交流行事に積極的に参加するなど、NEARの広報活動に取り組む。名誉広報大使

の委嘱時期、人数、任期など詳細な事項については、今後、NEAR事務局が書面で会員自治体へ通知することとした。

4. 2020 年度 NEAR 事務局の主要行事計画(案)に関する情報共有及び会員自治体の意見照会

NEAR事務局は、NEAR国際フォーラム、実務者ワークショップ、北東アジア青年リーダースフォーラム等2020年の主要行事計画（案）を発表した。また、会員自治体からの意見を積極的に照会し、行事の準備段階で反映する。

その他にも、今回の実務委員会において第14代NEAR議長団体を希望する自治体がなかったため、来年度の総会開催まで受付を延長する。また、NEAR事務局の予算執行状況について初めて詳細に報告をした。これに対して出席した会員自治体は、常設事務局の開設以来、全ての運営費を負担している大韓民国・慶尚北道に感謝の意を表した。

会員自治体は、第12回実務委員会をきっかけにNEAR行事の運営方法を改善し、近年低迷しているNEARの国際交流活動をさらに活性化させる。また、NEARに関する広報活動を強化し、NEARのプレゼンスを高めることに尽力することとした。

2019年8月7日